



守護星と菩薩

なんでん屋

なんでん屋

霊能力のレベル

霊能力のレベル

人間のレベル（第5段階）

レベル1・・・**正気状態**

レベル2・・・**以心伝心**（テレパシーともいう）

レベル3・・・**霊界通信**

レベル4・・・**菩薩通信**

レベル5・・・**神様通信**

・レベル1

若者がこのレベルにある。

・レベル2

中年以降がこのレベルにある。

・レベル3

霊能者と呼ばれる人がこのレベルにある。

・レベル4

高級霊能者と呼ばれる人がこのレベルにある。

・レベル5

ここまでくると、もう人間ではない。

説明)

レベル5は、神霊界でほんのひとときしか来ない。

まさしく、神がかり！

でも、すぐレベル4に落ちてしまう。

レベル4は菩薩界であるから、会話はできずに悩みに対する指示だけしか聞こえないだろう。

だから、日常会話はできない。

レベル4は、10秒も答えを聞くだけで会話もできないから、すぐレベル3に落ちてしまう。

レベル3は、霊界との会話であるから自分の意思で会話はできる。

そして、質問の答えを教えてくれるが、すぐレベル2に落ちる。

レベル2は、知り合いやこの世の人たちなので、会話はふつうにできる。

このレベルは、日常生活でそのまま継続できるため、レベル1に落ちない人も多い。
若者や中年でこのレベルにずっといると、精神内科に通う人が多いのも現代の病気傾向だろう。
レベル1は、全く本来の自分なのだが、未成仏霊と同調してしまう。
そして、体調不良、精神疾患、内臓不調、さまざまなガン疾患にかかってしまう人が多いのも事実である。

注意)

オカルトや霊能者を信じる信じないは自分の意思に関係なく、突然やってくる。
通常は、レベル1とレベル2を交互に行き交いしている。
だから人は、オカルトを絶対信じなかったり、本当に信じたりしている。
これが人間の本来の能力であるから、人のよっては超能力を発揮できるのである。
ただ、超能力を過信すると、自分の身体や精神が崩壊してくるのも事実であるから、
すぐレベル1に戻る癖をつけた方がいいと思われる。

結論)

コツは、神は信じず、神に頼らず、人間の道徳のみを信じて生きていけば良いのである。

人間の道徳＝神の教え＝モーセの十戒

守護星と菩薩

守護星と菩薩

人間と動物には守護してくれている本尊があります。

東洋では、菩薩といい、西洋では守護星座です。

また、人間と動物の霊能力は年齢や生き方によって変わってきます。

その分類をはっきりと明記しました。

生まれ月から守護菩薩と守護星座を選ぶと、

○ 生月を基準に選んでください ○

菩薩様	生月	性格 (干支)	守護星座 (占星術とは違う)
-----	----	---------	----------------

千手観音菩薩	11月	子 (ね)	獅子座
--------	-----	-------	-----

虚空菩薩	12月	牛 (うし)	乙女座
------	-----	--------	-----

虚空菩薩	01月	虎 (とら)	天秤座
------	-----	--------	-----

文殊菩薩	02月	卯 (うさぎ)	蠍座
------	-----	---------	----

普賢菩薩	03月	辰 (たつ)	射手座
------	-----	--------	-----

普賢菩薩	04月	巳 (へび)	山羊座
------	-----	--------	-----

勢至菩薩	05月	午 (うま)	水瓶座
------	-----	--------	-----

大日如来	06月	羊 (ひつじ)	魚座
------	-----	---------	----

大日如来	07月	申 (さる)	牡羊座
------	-----	--------	-----

不動明王	08月	酉 (とり)	牡牛座
------	-----	--------	-----

阿弥陀如来	09月	犬 (いぬ)	双子座
-------	-----	--------	-----

阿弥陀如来	10月	亥 (いのしし)	蟹座
-------	-----	----------	----

生年月日からではなく、生まれ月で菩薩と干支の性格と星座が決まります。
一般の導き出し方法とは違うことを誤解の無いように願います。

これは、自分の菩薩様と自分の守護星座と干支から性格を出しました。
このほかの占い本の詳細は、全く役に立たないので、動物から自分の性格を思い浮かべてください。

なお、菩薩と守護性は仏教と西洋宗教の名称の違いであり、全く同じ物です。
その昔、東洋と西洋で呼び名が違っただけです。

西洋では、星座の恒星名がわからなかったため、星の名前でなく星座の名前になったと推測されます。

東洋の菩薩も同様に、菩薩（群）と解釈してください。
菩薩名も守護星座名もかつての地球人が命名したものです。
だから、正確な名称は不明です。